

学薬のひろば

Vol.001

WHOは5月28日、SARSを「21世紀最初に出現した重篤な感染症」と位置付け、全ての国々へSARSをはじめとした感染症の制御に向けた全面的協力を呼びかけました。累積報告数が全世界で8,400人(6/4時点)、死亡者772人という数字に驚かされますが回復例も約5,700人を越えると聞き少しほっとしています。それにしても日本人の危機管理の希薄さには驚かされます。関空の件もそうですが、身近にDS2規格のマスクやミミッピー(体温計)等が品切れになる(感染地への送付?)中での危機意識のなさ、また、その中でも薬剤師の危機管理意識はどうなっているのか?患者さんと実際に向き合う薬局はどうあるべきか?学校において学校薬剤師としてはどう考えれば良いのか?少なくとも医師会はSARS対策講習会を催したと聞いていますが・・・、考えさせられます。

さて、薬苑7月号より毎号「学薬」コーナーを掲載させていただけることとなりました。この2~3年、プール水の総トリハロメタン検査に始まりシックハウス問題では「学校環境衛生の基準」の改訂のみならず「建築基準法」の一部改正までが行われ、実際にこの7月から施行されることになりましたし、また、健康増進法の施行から学校等においてもますます受動喫煙の防止に係わる措置が求められるようになるとともに医療用薬物の使用に関する知識の啓蒙、タバコをはじめとした薬物乱用教育について学校薬剤師(薬剤師)の関わりも益々求められるようになってきました。こうした中であって、このコーナーが情報の伝達の間として先生方にご活用していただければと考えています。よろしく願いいたします。

【連絡事項】

1. 総トリハロメタン検査及び循環ろ過器の処理水質の濁度について
プールの季節となりました。総トリハロメタン検査については昨年度と同様、資料3(学薬発行)を参考に実施していただきたいと思えます。また、本年度6月より愛知県プール条例で循環ろ過器の処理水質の濁度の検査が義務づけられておりますのでこれにつきましても資料4及び5を参考にしてください。
2. 室内空気質(ホルムアルデヒド等)検査について
夏場に調査するのが望ましいとされているため今夏に実施されるところが多いと思われま。資料1及び2を参考にいただき実施してください。なお、資料1についてはQ&A集になっていますので学校保健委員会等でもご利用ください。
3. 県内一斉調査の回答締め切りについて
8月末日までに県学薬必着でお願いいたします。
4. 薬剤師のための薬物乱用防止研修会について
本研修会は産業貿易会館で行われます。会員の皆様の出席動員をよろしくお願いいたします。
開催日時：平成15年10月26日(日) 午前10時より受付
会場：愛知県産業貿易会館

< 参考 >

- 資料1 学校・家庭におけるシックハウス問題とその対策
- 資料2 パッシブサンプリング法を使用した室内空気質の実際の調査方法
- 資料3 「水泳プールの水質管理」における総トリハロメタン検査について
- 資料4 水泳プールにおける濁度検査について
- 資料5 水泳プールの水質及び飲料水検査における大腸菌及び一般細菌の検査方法について

愛知県学校薬剤師会情報委員会より平成15年5月に上記5編が作成されています。(全会員に配布予定です。)

(愛知県学校薬剤師会 情報委員会)